

平成 30 年度 教育計画

教育方針：看護部では、看護部理念に照らし合わせ、質の高い看護を提供しうる看護師の育成を目指す。地域住民の健康レベル維持及び向上のために貢献できる人材の育成を目指す。

- 教育目標：①看護の実践化を育て、自立（律）的に行動できるジェネラリストを育成する。（自己成長力も含む）
 ②看護に必要な共感力を磨き、優しく温かみのある看護提供ができる看護師を育成する。
 ③患者の健康問題を解決するのに必要なアセスメント能力の強化及び問題解決思考が出来る看護師の育成を行う。
 ④地域との連携を図り、切れ目のない継続看護が実践できるための交渉力・調整能力を持つ看護師を育成する。

＜教育委員の活動＞

研修企画、その実施準備と当日担当、実施後評価、次年度への課題の明確化、研修に向けて進捗状況の確認、発表の企画、準備を行う。
 参加者の日々の指導、サポートは現場で行う。

| | ラダー到達目標 | 研修名 | 対象 | 時期 | 研修の目的・ねらい |
|-----|---|----------------|-----|-------------|--|
| 年次別 | 医療安全・感染の視点を踏まえた看護ケアを提供するための臨床技術を習得する。 協会病院の一員としての自覚を持ち、専門職能人としての職場適応が図れる。 学ぶ姿勢を身につける。 | 新人 | 新人 | 1年を通して | 新人研修計画参照 |
| | I 1. 自部署において、必要な疾患の病態生理・治療・看護を理解し、看護過程が展開できる。 （対象理解の大切さがわかる） 2. 看護チームの一員としてメンバーシップが発揮できる。 3. 専門職業人としての自己の学習課題を見つけ、課題達成に向けて自己学習する。 | 看護過程①② 対象理解 | 2年目 | ①5月 ②9月頃 | 目的：多角的に対象を理解し、看護過程が展開できる。 患者中心の看護を考えることができる。 ねらい：一連の業務を覚え、患者の受け持ちが始まり看護過程の展開を、指導を受けながら行う時期である。患者の病態、人間像を踏まえ、どんな看護が必要なのか、自分が大切にしていることは何かを考え、先輩にアドバイスを受けながら行った看護過程を発表する事で対象理解の大切さが理解できる。 |

| | | | | | |
|-----------------------|--|---------------------------|--------------|---|---|
| | <p>1. さまざまな健康上の問題を持った患者の看護過程を展開できる。</p> <p>2. 自己の看護実践能力の向上に向けて研修会などに自ら参加できる。</p> | <p>ケースレポート 4月から2月</p> | <p>3年目</p> | <p>①4月 ②2月</p> | <p>目的：事例報告を行い、学んだこと、自己の課題を伝え、看護観を養う。 対象理解・患者の尊重（倫理的側面）・看護の役割</p> <p>ねらい：2年目で深めた自分が大切にしていることや自己の課題達成に向けての看護の取り組みを、ケースレポートとして、自己の考えを文章で整理して伝えることが出来る。</p> |
| <p>Ⅱ から Ⅲ</p> | <p>1. 患者家族を尊重して、チームの調整ができる。</p> <p>2. 教育計画にもとづいて後輩の指導・教育ができる。</p> <p>3. 看護実践者としての役割モデルとなる。</p> | <p>リーダーシップ</p> | <p>4～6年目</p> | <p>①6月 ②7月 提出 ③ 12月 発表 意見交換</p> | <p>目的：業務リーダーや小チームリーダーを実施し、自己の課題の明確化、課題達成に向け行動できる。 看護の展開に必要なリーダーとしての役割を理解する。自分に合ったリーダーシップの発揮の仕方を見つける。</p> <p>ねらい：各部署内で業務リーダーやチームでのリーダー・サブリーダーを任されるようになり、リーダーシップを発揮することが求められるようになる。研修を振り返りの機会として、自分にはどのようなリーダーシップが必要かを理解し、自己の課題達成に向けて行動化できる。カンファレンスや後輩との関わりなど、自分が実践したことからの気づき・課題を発表し仲間と共有することで自己が望む看護師像を深め、後輩の役割モデルとなる。</p> |

| | | | | | | |
|-----|--------------|---|---------|----------------------|---|--|
| | Ⅲ から Ⅳ | <p>1. 患者家族を尊重して、チームの調整ができる。</p> <p>2. 教育計画にもとづいて後輩の指導・教育ができる。</p> <p>3. 看護実践者としての役割モデルとなる。</p> <p>4. 他職種との調整・連携が取れる。</p> <p>5. 主体的に組織の中で自己の果たすべき役割を見出し、実践、組織に貢献できる。</p> | 問題解決 | 7～9年目 | <p>①6月</p> <p>②10月</p> <p>③2月</p> | <p>目的：チーム内の役割、業務改善を通して、問題分析し解決に向けて行動できる。</p> <p>問題解決技法、リーダーシップ、コミュニケーション力を高める。</p> <p>ねらい：自分の働く部署をより良くするために、現状の問題を理解して、問題解決に向けて発展的に自ら取り組むことが出来る。あるべき姿は何なのか、現状はどうなのか、どうすればあるべき姿に近づけるのか、問題解決に向け取り組むことが出来る。</p> |
| | Ⅳ から Ⅴ | <p>1. 自己の目標・課題をもち、看護実践能力の向上に向けて研修会などに自ら参加できる。</p> | ステップアップ | 10年以上 | 適宜 | <p>自分に合った研修に自ら参加する</p> <p>ねらい：自分自身がどのようなことに興味があるのか、そのためにはどのような勉強の場があるのか情報収集し、自分でキャリアアップを目指して学習できる。(自主自立できる。)</p> |
| 役割別 | Ⅱ から | <p>臨床の中から生じる問題や疑問を研究の視点でとらえ、科学的方法を用いてあたらしい事実や関係を系統的に探究する過程を行い看護の質向上につなげる。</p> | 看護研究 | 看護研究メンバー | <p>①5月頃</p> <p>②7月頃</p> <p>④1月頃</p> <p>院外講師を調整中</p> | <p>目的：臨床で取り組む看護研究の意義を理解し、研究のプロセスを学び、看護研究の必要性を理解する。</p> |
| | | <p>1. プリセプターの役割を理解する。</p> <p>2. 新人看護師の教育プログラムについて理解し、周りに相談しながらプログラムを立て新人看護師の指導ができる。</p> <p>3. プリセプターの役割を通し自己の成長につなげることが出来る。</p> | プリセプタータ | 4～5年目のプリセプターの役割を担うもの | <p>①3月</p> <p>②9月</p> <p>③3月</p> | <p>プリセプターを行い、新人と共に互の成長を実感することができる。</p> |
| | | <p>1. 後輩育成に貢献できる</p> | 臨床指導者 | 学生指導、新人指導を担うもの | | |

| | | | | | |
|-----|---|---------------|-------|--|-----------------------------------|
| | * | 教育委員会 | 教育委員 | | 教育概論、教育方法論を学ぶ。 |
| | * | 管理者 | 師長 | | ファシリテーションスキルを身に付ける 平成 29 年度の続き |
| | * | | 副師長 | | コーチングスキルを身に付ける 平成 29 年度の続き |
| | 病院で働く介護士として必要な知識・技術を身につける。 介護士の活動範囲を理解し、患者ケアにおいて看護師との協働が出来る。 | 看護 サポートチーム | 介護福祉士 | | 目的：看護チームの一員として、知識、技術を学び、実践に活かす。 |
| | 看護助手として必要な知識・技術を身につける。 | | 看護助手 | | 目的：看護チームの一員として、知識、技術を学び、実践に活かす。 |
| 全職員 | | 感染 | | | 安全に看護できるための感染に関する知識、技術、態度を養う |
| | | 安全BLS | | | 安全に看護できるための知識、技術、態度を養う。 |
| | | 接遇 | | | 患者、家族に対して適切な対応ができる。 |
| | | 退院調整 | | | 制度を理解し、患者に合わせた効果的な退院調整について理解する。 |
| | | 診療報酬 | | | 診療報酬の改定内容を理解し、病院運営に参画するコスト意識を高める。 |
| | | 介護支援 | | | 制度を理解し、多職種と連携しながら患者支援を行う。 |
| | | 看護必要度 | | | 目的：看護必要度を理解し、適切に評価できる能力を養う。 |

| | | | | | | |
|--|--|--|------|--|--|---|
| | | | 倫理 | | | 専門職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動できるための知識、技術、態度を身につける。 |
| | | | 業務改善 | | | 目的：各部署での業務改善結果を報告、共有し、働きやすい職場環境を考え続ける。 |

* 上記ラダーは（仮）ラダーとして記載。現在管理者ラダーとともに検討中である。